

No.14

2019年1月

一凜 月刊

書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



夢は美一歩一歩
希望は高まがよ
夢も希望も捨てなければ
必ず近づいてくる
刻まがよ



月刊一凜 No.14 <2019年1月>

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786
<http://www.shodo-ichirin.com/>

墨を擦る

文 岡田 雄希

トマニン スパゲッティー

モーリー・ロバートソンというタレントを最近テレビでよく見る。米国籍で

ニューヨーク生まれの広島育ち。日本の高校に通い日本の入試制度で米国人として初めて現役東大合格。入学直後に東大を中退し米国の名門ハーバード大へ入り、その後日本へ再び戻りDJや国際ジャーナリストになって今に至るというのが簡単な略歴だ。

日本どちらでもトップレベルの大学へ行くなんて、本当に頭がよいのだろ

う。テレビのコメンテーターを務めているが、その辺の国際政治学者よりよほどまつとうなことを言っている。英語も日本語も堪能で、クイズ番組に

出演すると普通の日本人が知らない漢字や言葉も知っているようだ。同じハーバード大を出た日本文学者のロバート・キャンベルさんも日本語を含む知識はすごいと思っていたが同様に、このロバートソンさんもすごい。若者向け週刊誌にコラムを書き本も出版しており読んでもみた。ツイッターもやっていると知り、のぞくようになつた。そこで、だ……。彼が何度も”つぶやき”をアップするので店舗

「一意専心」とは、他のことを考えずに一つのことにして心を集中させることです。

これは、中国春秋時代に齊の国で活躍した政治家管仲の思想をまとめた『管子』に記載されている故事成語です。管子の中にある「四体既に正しく、血氣既に静かにして、意を一にし心を専らにし、耳目、淫せざれば、遠しといえども近きが若し』(体が健全で、体内の血気が静かで、一つの

【四季と書と】

ことだけに気持ちを集中し、耳や目の感覚が乱されなければ、遠くのあるものでも近くにあるもののよううに得ることが出来る)という言葉が出典と言われています。

人は、辛さを乗り越えるときや忘れないときなどには、一つの事に集中して心を落ち着かせようとしています。心を集中させていると不思議なことにそれらをいつしか忘れ、次に進むことができます。なにか一

つの目標を乗り越えるためには強い精神力が必要です。こうして自分に妥協せず進んだ先には達成感や満足感が待っていると思います。

教室で流れている音楽も聴こえなくなるほど書に集中して、いつの間にか時間が経つのも忘れていた。そんな心境になれるよう「一意専心」を意識して益々自己研鑽に努めて頂ければ幸いです。

佐々木峯雲

岡田 雄希 Yuki Okada

昭和33年3月20日、北九州市生まれ。平成23年12月に一凛に入門。

趣味は自転車と酒を飲むこと。酒は誘われたら断らないがモットー。

小倉百人一首に親しむ

卷頭の歌として名高い歌

第1回

秋の田のかりほの庵の
苦をありみ
わが衣手は露にぬれつ
濡れてゆくばかりだ。

歌番号1
現代語訳
秋の田の傍にある仮小屋の
屋根を葺いた苦の目が粗いので、
私の衣の袖は露にぬれつ
濡れてゆくばかりだ。
作者
天智天皇

お正月の風物詩であるかるたで詠まれる小倉百人一首は、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて活動した公家・藤原定家が京都・小倉山の山荘で選んだとされる100人の歌人の和歌を、一人一首ずつ選んでつくった季歌撰です。

かな作品にも登場する小倉百人一首を一緒に勉強していきましょう。

まずははじめに、この歌は天智天皇の作ではないといわれています。『万葉集』巻十に詠み人知らずとして「秋田かる仮庵を作り我が居れば衣手さむく露ぞおきにける」というのがあり、これが世に広まるにつれ、平安朝の歌風に変えられ、作者に

うことも古来から議論の種です。一説には、奈良時代の皇統は天武系であったが、都が京都へ遷つて平安時代になつてからは天智系皇統となり、王朝の皇室や宮廷人は、天智帝を尊崇することが篤かつた。そ

れゆえ定家も、平安朝詞華集といべき「百人一首」の冒頭に皇統の始祖・天智天皇をもつてきたのだといわれています。

またこの歌は、天皇として農民の苦勞

を思いやつたもの、という解釈もありますが、王朝末期の幽玄派の歌人で、戦乱の時代にあえて戦争なんかオレの知つたことか」というような男であつた定家が、そんな二宮尊徳のような考え方で歌を選ぶはずがない、という説もあるのです。

他にも意表を衝く卓説があります。天智天皇は大化の革新のクーデターをおこして新しい時代を切り開かれた。これを承久の変を引き起こして失敗された後鳥羽院と対置して、後鳥羽院の無念の思いと、果たすべかりし夢を暗示しているというものですね。しかも歌の「かほりの庵の苦をあらみは後鳥羽院流謫の地、隠岐の粗末な行在所の暗喩でもあるといわれています。

ただ、そんなことをあからさまに言挙げすれば、たちまち幕府ににらまれてしまふと思つた定家は、「百人一首」にことよせて、後鳥羽院びいきの表情をひそかに示し、知る人は知つてくれるのではないか、後世の人はこの謎を解き、自分の心持ちもわかつてもらえるのではないか、という望みをこめて卷頭にしたのではないか、といわれています。



1月分 課題

配布された手本に間違えがないか、左記課題一覧を必ず確認してください。

今月の言葉



1月分 課題

1月分課題は2月10日(日)が提出期限予定です。

諦めることなく、コツコツと努力することが何より大切です。
みなさん、今月も頑張りましょう。

正月の遊びやゲームと一緒にされている中でも広く行われるのは、和歌を使つた「百人一首」かるたです。奈良・平安時代の王朝の人々にとって、和歌はいつも日常的なものでした。

小説を読むことは楽しいことである。しかし楽しいからといって手当たりしだいに読めばいいということにはならない。良い作品を選んで正しく読み味わうことか大切である。

《硬筆》
10級～1級

《硬筆》
初段以上

知足

《漢字 楷書》
10級～1級

智慧

《漢字 隸書》
初段～五段

和樂

《漢字 篆書》
六段以上

雪のこゑ
いたまんべつ



《かな》
初段～五段



《かな》
六段以上

《硬筆の添削に関して》

今後は初段以上五段までに該当する方の添削も毎月1回限りとします。十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼してください。

昨年末に販売しました「凛チャリティカレンダー2019」は、義援金総額9万8520円になりました。全額を「平成30年7月豪雨災害義援金」として、12月25日、日本赤十字社に送金いたしました。ご協力して頂きました皆様には感謝申し上げます。

收支の詳細に関しては別途報告いたしました。「出来ることをすこしずつ、出来ることをいつまでも」の理念のもと、今後も継続していきたいと考えています。

今月の有段者の漢字課題は、五段までが「隸書」、六段以上が「篆書」です。有段者の仮名課題は「小作品」です。今回も書の評価に加え、デザイン、仕上り具合を加味して総合評価します。それぞれの課題を楽しみながら取り組んでください。

今年も固定観念に縛られることなく、皆さんが、楽しみながら学べる課題を考えていきたいと思っています。